

環境・農水常任委員会 資料
平成28年(2016年)12月15日(木)
琵琶湖環境部

平成28年度11月補正予算案

主 な 事 業 概 要

琵琶湖環境部

事業名	補正予算見積額 (現計予算額)	説明
<p>【環境政策課】</p> <p>展示事業費 (琵琶湖博物館費)</p>	<p>241,890 (853,883)</p> <p>国 120,945</p> <p>起 120,900</p> <p>⊖ 45</p>	<p>1 展示交流空間再構築事業 241,890</p> <p>「新琵琶湖博物館創造基本計画」に基づき、第2期リニューアルとして交流空間の再構築を行うため、樹冠トレイルやディスカバリーーム、大人のディスカバリー、レストラン・ショップ、IBUNEP施設等の整備・改修を行う。</p> <p>784,589 → 1,026,479</p> <p>国補正予算を活用した事業費の増</p>
<p>【森林政策課・ 森林保全課】</p> <p>林業・木材産業高度化 対策費</p>	<p>46,400 (301,862)</p> <p>国 46,400</p>	<p>1 合板・製材生産性強化対策事業 46,400</p> <p>県内から国内の合板等生産工場への原木供給を強化するため、間伐材生産等を支援する。</p> <p>0 → 46,400</p>

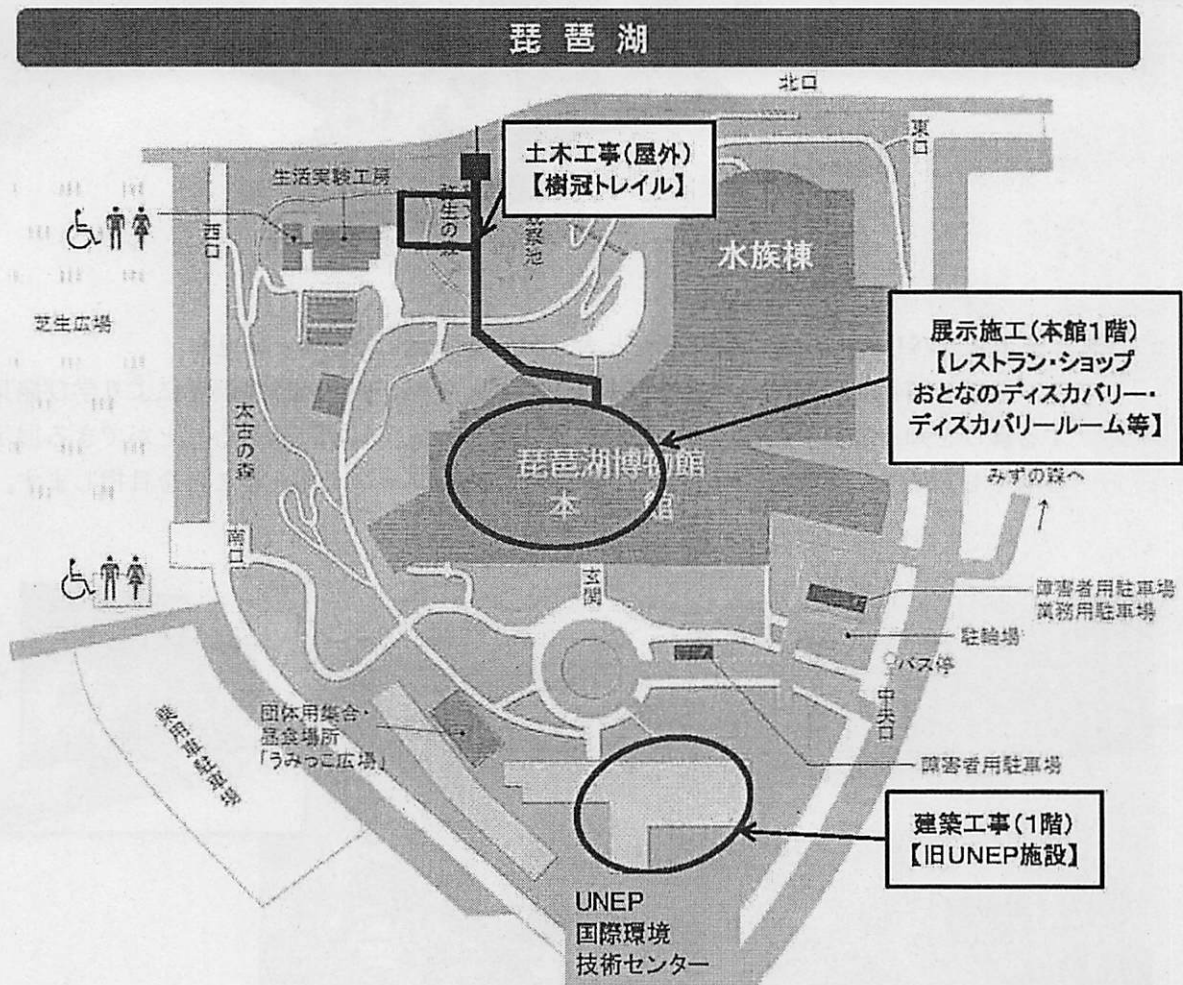
第2期実施設計 素案（概要版）

1 交流空間の再構築の概要

～参加と発見、対話と交流を促し、次代を担う人が育つ交流の拠点～

大人も楽しめるリアルな知的空間「おとなのディスカバリー」、子どもと大人と一緒に楽しめる「ディスカバリールーム」、滋賀県産食材の魅力を発信する「ミュージアムレストラン」、琵琶湖地域に関連した商品を取り揃えた「ミュージアムショップ」、企画展示室内で個人や小グループに体験プログラムを提供できる「わくわく体験スペース」を整備します。

また、屋外に琵琶湖と森を感じる空中遊歩道「樹冠トレイル」を新設するとともに、旧UNEP施設を改修して「地域団体と学校向け交流・休憩ゾーン」を整備します。



2 新しい交流空間の展示のねらいと主な展示内容

(1) おとなのディスカバリー ～大人も楽しめるリアルな知的空間～

大人の探究心に応え、学びと発見の場として繰り返し利用される国内博物館では初めての知的空間となります。標本や剥製などの多様な実物資料を手に取り、顕微鏡や図鑑などを使い、調べることができます。また、学芸員、資料整理員による資料整理などの活動を実演形式でわかりやすく来館者に伝えます。展示とフィールドをつなぎ琵琶湖や自然への関心を高め、地域や博物館活動への参加を促します。



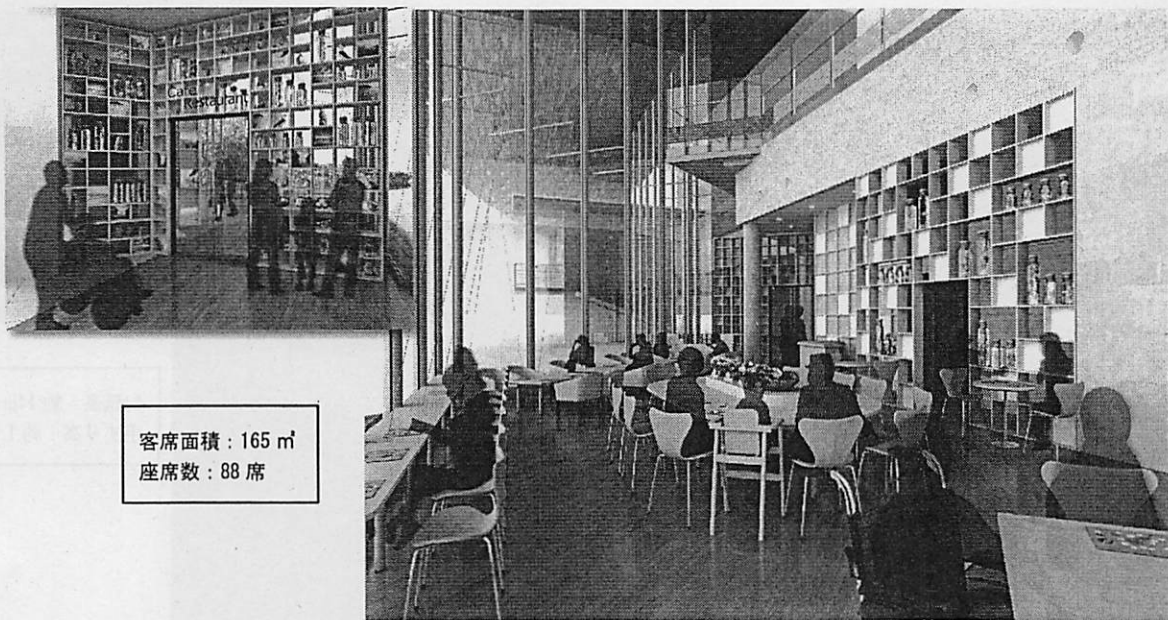
(2) ディスカバリールーム ～子どもと大人が一緒に楽しむ体験と発見～

「琵琶湖博物館の入口」となる展示室として、五感を使う体験型展示により学び発見する喜びを知ってもらえる場とします。子どもと大人が一緒に楽しむことができる展示を増やし、楽しい博物館体験を通じて将来の博物館ファンが増えることを目指します。



(3) ミュージアムレストラン ～滋賀県産食材の魅力発信～

ふなずしや近江米といった展示と連動した食材や、地元の味を楽しめるレストランとして、琵琶湖地域の魅力を発信します。親子連れや高齢者、障害者など多様な来館者が利用しやすいメニューやサービスを提供します。ドリンクなどのカフェメニューを充実させ、展示観覧の合間の休憩にも利用できる空間とします。



客席面積：165 m²
座席数：88 席

(4) ミュージアムショップ ～博物館の感動をお持ち帰り～

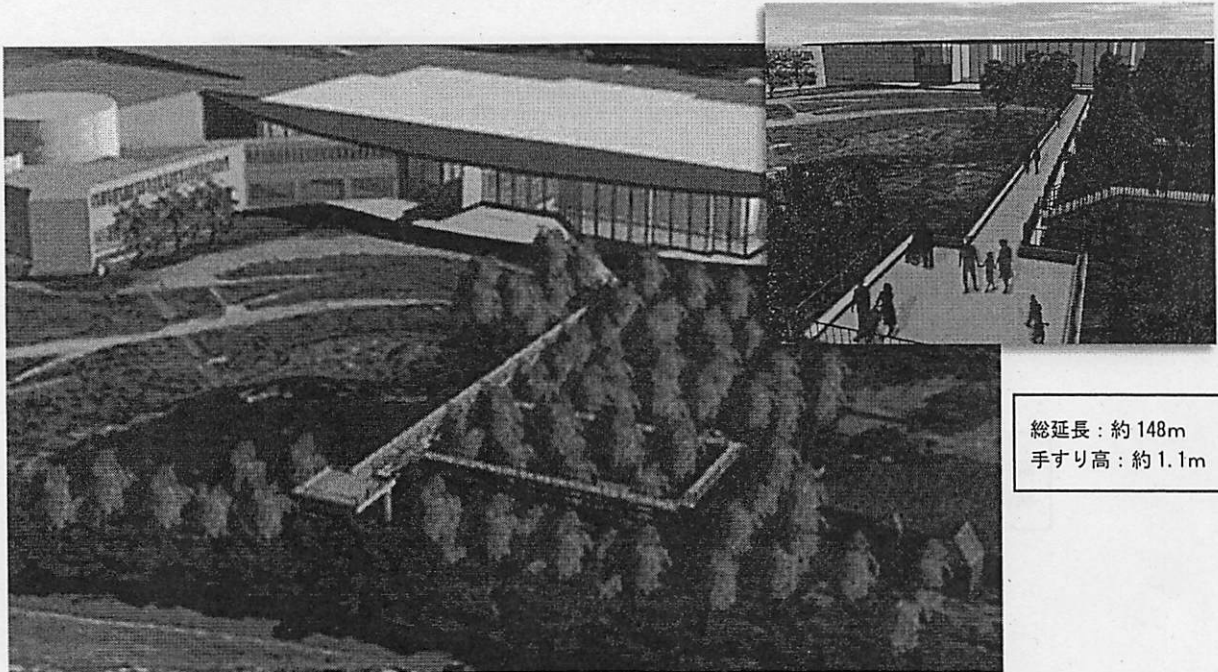
展示室で扱うものを中心に、琵琶湖地域の様々な事柄に関連した商品を取り揃えたミュージアムショップとします。来館者が展示室で見つけた発見を、商品を通して、家に帰ってからもさらに深め、広げていけるよう、そのきっかけとなるショップを目指します。



店舗面積：90 m²

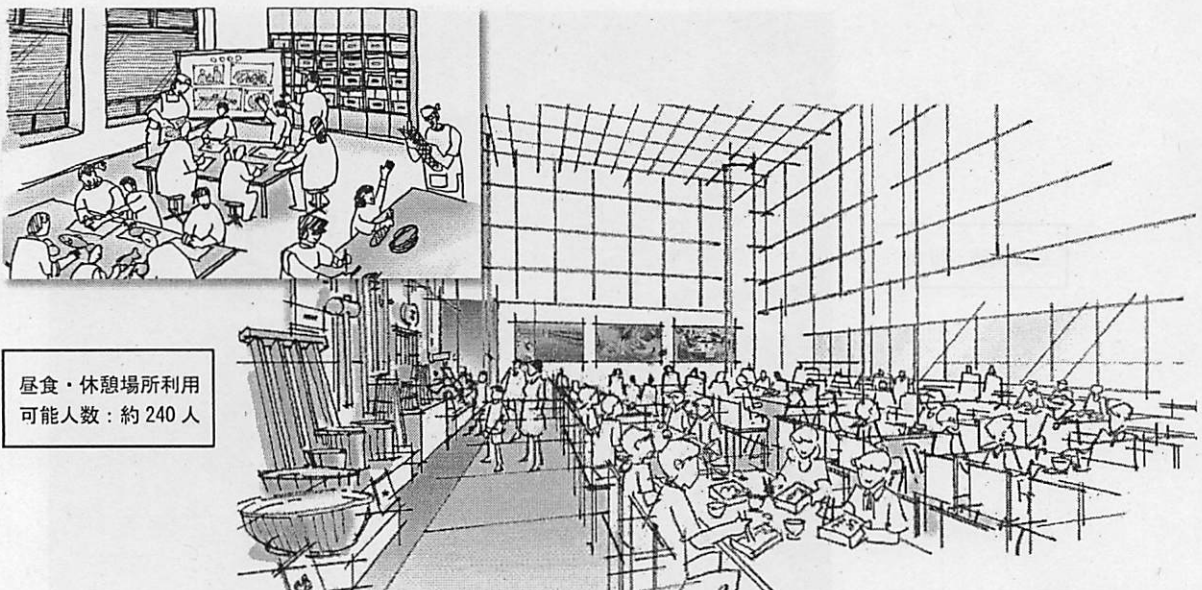
(5) 樹冠トレイル ～琵琶湖と森を感じる空中遊歩道～

湖畔にある博物館の立地を最大限に活かして、琵琶湖を渡る風を感じながら屋外展示の森を上から観察できる空中遊歩道を整備します。樹冠トレイルの新設により、新たなシンボルが琵琶湖博物館に加わり、琵琶湖岸屈指の観光スポットとなることを目指します。



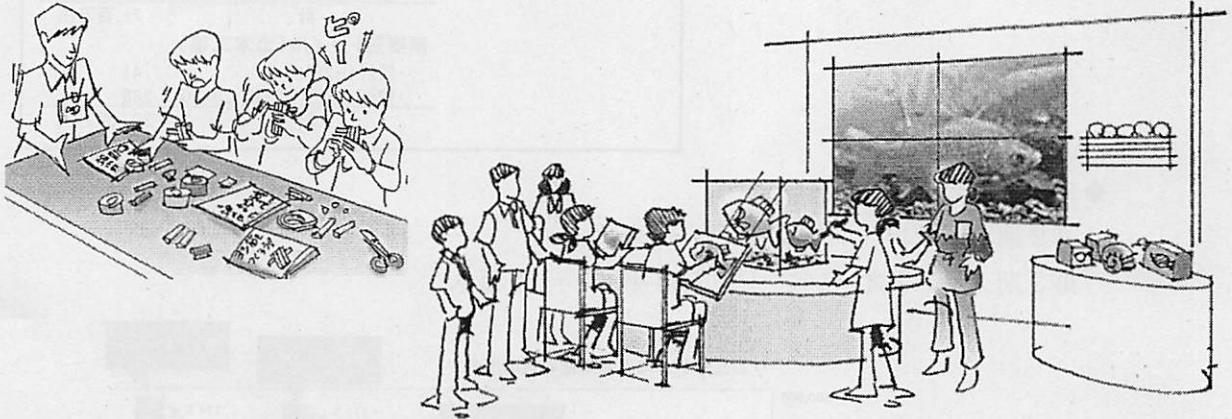
(6) 地域団体と学校向け交流・休憩ゾーン ～団体による博物館利用の快適性向上～

既存施設（旧UNEP施設の一部）を改修し、多様な主体が活動できる交流空間を整備して活動の輪を広げます。また、団体や学校向けの屋内の昼食・休憩場所を整備することにより、博物館を利用しやすくします。



(7) わくわく体験スペース ～だれでも楽しく、わくわく体験～

家族連れやカップル、シニア層などの個人や小グループ向けの体験プログラムを提供します。地域の団体や個人が展示できる空間でもあります。企画展示が開催されていない時期の展示室の稼働率を高めます。



3 スケジュール、事業規模および来館者数予測

(1) 全体スケジュール

平成 24 年度 新琵琶湖博物館創造ビジョン
 平成 25 年度 新琵琶湖博物館創造基本計画



第 1 期 (C 展示室、水族展示)

平成 26 年度 第 1 期リニューアル実施設計
 平成 27 年度 第 1 期リニューアル工事
 平成 28 年度 第 1 期リニューアルオープン



(平成 28 年 7 月 14 日)

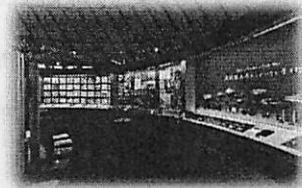
第 2 期 (交流空間)

平成 28 年度 第 2 期リニューアル実施設計、工事
 平成 29 年度 第 2 期リニューアル工事
 平成 30 年度 第 2 期リニューアル完成

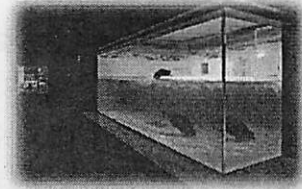


第 3 期 (A 展示室、B 展示室)

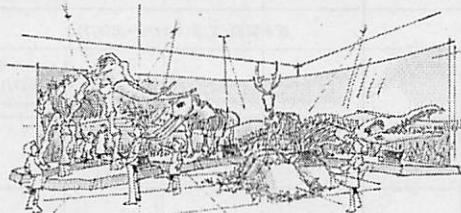
平成 30～32 年度 第 3 期リニューアル



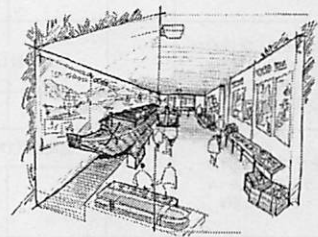
(C 展示室：生き物コレクション)



(水族展示：バイカルアザラシ)



(A 展示室：変わる生き物)



(B 展示室：船とともにある暮らし)

(2) 事業規模および来館者数予測

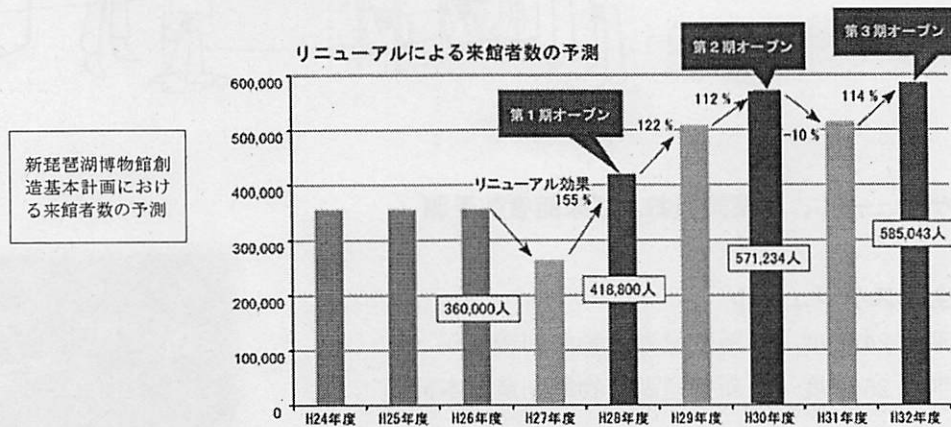
◆事業規模

全体…約 30 億円
第 2 期…約 6.3 億円

第 2 期概算事業費		■レストラン、ショップ、おとなのディスカバリー、 ディスカバリールーム(展示工事)	
630百万円		・設計(H28)	11
(H28 54百万円)		・施工(H28補・29・30)	241
(H28補 242百万円)		計	252 百万円
(H29 36百万円)		■旧UNEP施設(建築工事)	
(H30 298百万円)		・設計(H28)	2
		・監理、施工(H28補・29)	69
		計	71 百万円
		■樹冠トレイル(土木工事)	
		・設計(H28)	41
		・監理・施工(H28補・29・30)	266
		計	307 百万円

◆来館者数の予測

第 2 期オープン (平成 30 年度) …57 万人
第 3 期グランドオープン (平成 32 年度) …59 万人



(3) 第 2 期リニューアルスケジュール

第 2 期リニューアルは、平成 30 年度に段階的にオープンすることとし、「レストラン」「ショップ」「わくわく体験スペース」「地域団体と学校向け交流・休憩ゾーン」は平成 30 年 4 月頃に、「おとなのディスカバリー」「ディスカバリールーム」は 7 月頃に、「樹冠トレイル」は 11 月頃に、それぞれオープンできるように計画を進めます。

項目	平成28年度				平成29年度				平成30年度		
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
レストラン、ショップ、 わくわく体験スペース (展示工事)	実施設計(2016/7~2017/2)				展示契約・工事(2017/3~2018/4)				閉室 (2017/12~2018/4) オープン		
地域団体と学校向け 交流・休憩ゾーン (建築工事) ※旧UNEP施設	実施設計(2016/8~2017/1)				建築契約・工事(2017/2~2018/4)				オープン		
おとなのディスカバリー、 ディスカバリールーム (展示工事)	実施設計(2016/7~2017/2)				展示契約・工事(2017/3~2018/7)				閉室 (2017/12~2018/7) オープン		
樹冠トレイル (土木工事)	予備設計、地質調査 (2016/6~2016/10)		詳細設計 (2016/11~2017/2)		土木契約・工事(2017/3~2018/11)				オープン		